

生駒市立光明中学校

校長通信

第1号 令和4年4月11日

校長 藤井 仁

奈良県生駒市小明町55番地



ご入学、進級おめでとうございます。

こんにちは、そしてはじめまして。皆さんと共に、「中学校時代」という素晴らしい時を歩んでいきたいと考えています。光明中学校生のキラキラした笑顔、さわやかなあいさつ、そんな宝物をみんなで大切に、新たな発展、成長に向かって、ともに進みましょう。どうぞ、よろしくお願いいたします。



第40回光明中学校入学式

「降水確率は0%！」の晴れの日、素晴らしい予感



4月7日（木）、入学式前日、天気予報を見てみると、「晴れ！」そして、降水確率は0%！新入生のこれからの中学校の明るい学校生活を予感させる、太陽のマークが輝いて見え、翌日の入学式がとても楽しみにになりました。また、この日は、在校生が、式場の設置、新入生の教室の飾りつけ、校内の清掃を行ってくれましたね。2年生、3年生、真心をありがとう。



そして8日（金）、令和4年度 第40回入学式を挙行し、119名の新入生が、晴れて光明中学校に仲間入りしました。

初めて中学校の制服を着た新入生の皆さんの気持ちは、どんなだったのでしょうか。入場してくる様子はとても誇らしげで、堂々としていましたよ。すぐに新しい生活に慣れて、新たなお友達もでき、何事にも前向きに取り組むことができる立派な中学生になれそうですね。入学、本当におめでとう。

新3年生の さんの「在校生の歓迎の言葉」では、中学校の学校行事について触れたあと、「新しい環境に、くじけそうになれば私たちや先生方、保護者の方を頼って欲しい」と伝えてくれました。また、新入生の さんの「誓いの言葉」では、「支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、校則を守り、自覚と誇りをもつ



た光明中学生になりたい」との決意を表明してくれました。

また、私は、「式辞」で次のような話をしました。



喜びには二つの種類がある。

ひとつめの喜び。それは、欲しかった物を買ってもらったりして、手に入ったときに感じるような喜び。

もう一つの喜びは、何かに挑戦し、それを乗り越えたときの喜び。二つ目の喜びにこだわって、中学校生活を送って欲しい。

しかし、目標や夢、希望は、それが大きいほど、すぐに成し遂げられるものではない。大発明家、トーマス・エジソンさんは、頑張っても頑張ってもうまくいかないとき、「失敗ではない。うまくいかない一万通りの方法を発見したのだ」と考えました。中学校生活に、「失敗」はない。「一万通りの方法」を見つけよう。

さあ、新しい学年のはじまりです。1年生も、2年生も、3年生も、みんなでチーム光明として力を合わせて、今以上に素晴らしい学校を創り上げていきましょうね。



〈人事異動〉令和4年度の光明中学校を どうぞよろしくお願いいたします！

転出

転入

氏名	転出先	氏名	前任校
ウェブ掲載用に削除しています。			